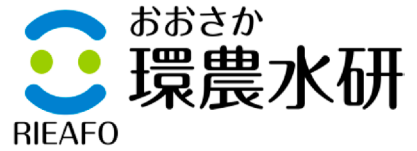


研究室紹介



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 環境研究部環境調査グループ 大気環境チーム

● おおさか環農水研の紹介

大阪府立環境農林水産総合研究所は、平成19年に環境情報センター（旧公害監視センター）、食とみどりの総合技術センター、水産試験場を統合して発足し、平成24年には地方独立行政法人に移りました。現在は、総務部・企画部・環境研究部・食と農の研究部・水産研究部及び農業大学校で組織されています。環境の保全・農林水産業の振興・食品産業の支援・農業者の育成といった幅広い分野で、さまざまな取組を行い、「地域社会に開かれた知と技術の拠点」として社会に貢献できるよう努めています。

● 大気環境に関する業務

環境調査グループは、昭和43年に設立した公害監視センターの流れを組む組織で、大気・水質等の環境保全に関する調査研究・分析を行っています。

大気環境チームでは、大阪府による大気保全行政の効果把握のために、有害大気汚染物質や微小粒子状物質（PM_{2.5}）に含まれる成分の分析を行い、濃度の地域・季節特性や高濃度の原因について解析しています。また、大阪府が工場・事業場への立入検査等で採取した排出ガス中の揮発性有機化合物（VOC）や水銀などの濃度分析や、建築物の解体工事等の現場周辺におけるアスベスト濃度や建材中アスベストの含有率などの緊急を要する分析を行い、府民の安全・安心の確保に努めています。

さらに、行政課題である光化学オキシダントの環境基準未達成の要因解析のため、国立環境研究所や全国の地方環境研究所と連携して光化学オキシダントに関する研究にも取り組んでおり、VOCや二次生成有機エアロゾル（SOA）の実態把握調査などを行っています。また、条例の有害物質規制に追加された排出ガス中のアクリロニトリル等の測定方法を大阪府と共同で開発したり、環境省における大気粉じん中の六価クロム測定方法マニュアルの改定検討に参画するなど、行政を科学的、技術的な立場から支援しています。

● 地域社会への貢献

上記の業務のほか、次代を担う中高生の探究活動の支援にも取り組んでいます。高等学校での企業・研究機関との協働プロジェクトに参画し、大気環境保全の課題について課題解決の道筋を協働で検討しています。また、「大気環境未来60」募金の運用対象事業として、先進的な理数教育を実施している学校と連携し、身近な場所での大気観測や観測データからの汚染状況の考察を体験することで、自らの探究活動の発展に活かしてもらえる取組を実施しています。これらの事業を通じて大気環境保全分野への興味を深め、将来、同分野で活躍する人材が育つことを期待しています。

（西村理恵）



大阪府立環境農林水産総合研究所



建材中のアスベスト分析
（走査電子顕微鏡法）



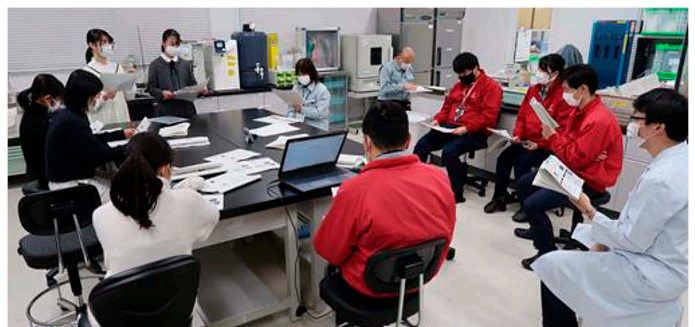
粉じん中の金属分析
（誘導結合プラズマ質量分析法）



VOC・SOAの実態把握調査



六価クロムの測定方法検討



中高生の探究活動内容について意見交換



ウェブサイト



フェイスブック



メールマガジン

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp>